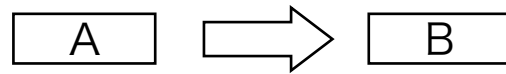


日本語文法 2
条件節・譲歩節

条件節：総論

条件節



条件節

たら
なら
(れ)ば
と

主節

条件節は、主節を制約する条件を表わす

条件節が表わす条件

- * 仮定条件 [非過去の条件]
- * 予定条件 [非過去の条件]
- * 反実仮想 (仮想条件) [過去の条件 / 非過去の条件]
- * 確定条件 (既定条件) [過去の条件]
- * 一般条件 [非過去の条件]

仮定条件

仮定条件

* 起きるのか起きないのかまだわからない条件を示す

* 「たら」「なら」「(れ)ば」は仮定条件を表わす

* 雨が降ったら、運動会は中止です。

* あなたが食べるなら、私も食べる。

* 明日、晴れば、釣りに行きます。

予定条件

予定条件

- * まだ起きていないが起きることが確実な条件を示す
- * 「たら」は予定条件を表わす
- * 時間的な前後関係を表わしているとも解釈できる
- * 食事が終わったら来てください。
 - 食事が終わったあと(で)来てください。
 - 食事が終わったとき(に)来てください。

反実仮想（仮想条件）

反実仮想（仮想条件）

- * 過去または現在における事実に反する仮定を示す
- * 「たら」「なら」「(れ)ば」は反実仮想を表わす
 - * あなたが金持ちだったら、親切にしたと思う。
 - * すぐに治療していたら、助かったはずだ。
 - * 私が社長だったなら、おごってあげるのに。
 - * 詳しく調べていたなら、問題はなかったはずだ。
 - * 20才で会っていれば、結婚したかもしれない。
 - * 勉強していれば、合格できただろう。

反実仮想のテンス

- * 反実仮想「なら」→一般に条件節中はタ形になる
 - * ここに彼女がいたなら、もっと盛りあがるよ。
 - * ??ここに彼女がいるなら、もっと盛りあがるよ。
- * 主節→テンスに特殊な意味が加わる場合がある
 - * 私があなただけだったら、契約した。(推量を示す)
- * 主節→テンス的な意味(対立)が失われる場合がある
 - * いま彼がいれば、喜んでいただろう。(非過去)

反実仮想のアスペクト

- * 反実仮想の条件節→テイル形の方が自然になる
 - * ○速度を落としたら／落とせば、安全だった。
 - * ◎速度を落としていたら／ていれば、安全だった。
 - * ×今寝たら／寝れば、気づかなかった。
 - * ◎今寝ていたら／ていれば、気づかなかった。
- * 反実仮想条件節のテイル形は進行相を示さない
 - * 食事をしていたら、倒れなかつただろう。

確定条件（既定条件）

確定条件（既定条件）

- * すでに起きた（過去の）個別の条件を示す
- * 「たら」「と」（「れば」）は確定条件を表わす
 - * 風呂に入っていたら、お客が来た。
 - * 窓を開けると、外は雨だった。
- * 「れば」による確定条件は特殊な意味を表わす
- * 「なら」は確定条件（既定条件）は示さない
 - * 過去形（タ形）＋「なら」→反実仮想を示す

「たら／と」の確定条件

- * 「たら／と」の確定条件→主に『きっかけ』を示す
- * 子どもを殴ったら泣いた。
- * ビールの栓を抜くと、なかみがあふれた。
- * 主節が〈発見〉や〈偶然〉の意味を示すことが多い
- * テレビをつけたら、友だちが出ていた。
- * 発見・偶然→条件節と主節のアスペクトが異なる
- * ??テレビをつけたら、友だちが出た。

「(れ)ば」の確定条件

- * 「(れ)ば」の確定条件→〈気づきのきっかけ〉を示す
- * よく見れば、それは幽霊ではなかった。
- * 見てみれば、それは幽霊ではなかった。
- * 「よく～れば」「～てみれば」などの形になる
- * 「(れ)ば」→上記以外の個別の過去の条件は示さない
- * 一般的な条件では、過去の条件を示すことがある

確定条件と反実仮想

* 30分待っていたら、彼に会えた。

* 2通りの解釈が可能

* 実際に会えた：確定条件

* 30分待っていると、彼に会うことができた。

* 会えなかった：反実仮想

* あと30分待っていたら、彼に会えただろう。

一般条件

一般条件

- * いつでも常に成り立つような一般的な条件を示す
- * 「たら」「と」「(れ)ば」は一般条件を表わす
 - * この公園は、春になったら桜が咲きます。
 - * スタートボタンを押すと動きます。
 - * 夜になれば、暗くなります。
- * 過去における一般的な条件を示す場合もある
 - * 春になったら／なると／なれば花が咲いていた。

過去の習慣

- * 過去の一般条件→過去の習慣を表わすことも多い
- * 小学校のころは、8時になったら寝ていました。
 - * 文脈によっては許容度が下がるので注意する
 - * ?? いつも酒場に行ったら、彼に会った。
 - * ◎ いつも酒場に行くと、彼に会った。
- * あのころは、家に帰ると泣いていました。
- * 大学時代は、ヒマがあれば酒を飲んでいて。

過去の習慣

- * 過去の習慣を示す一般条件→主節の文末がタ形でもテイル形でも同じ意味を示す (『経験』を示す用法)
- * 大学時代は、ヒマがあれば酒を飲んでいた。
- * 大学時代は、ヒマがあれば酒を飲んだ。
- * 「～たものだ」の形では過去を回想する意味を含む
- * ヒマがあれば酒を飲んでいたものだ。
- * ヒマがあれば酒を飲んだものだ。

条件節：各論

条件表現

	仮定条件	予定条件	反実仮想	確定条件	一般条件
たら	◎	◎	◎	◎	○
なら	◎		◎		
(れ)ば	◎		◎	○	◎
と				◎	◎

「たら」

「たら」の条件表現

- * 仮定条件： 天気がよかった散歩しましょう。
- * 予定条件： 宿題が終わったら教えてください。
- * 反実仮想： 若者だったらそうしていました。
- * 確定条件： 寝ていたら電話がかかってきた。
- * 一般条件： 秋になったら山々が紅葉します。

「たら」の制約

- * 同時に生じる出来事には使えない (→なら)
 - * * 出かけたなら傘を持って行きなさい。
 - * 出かけるなら傘を持って行きなさい。
- * 口語的で硬い表現にはなじまない (→れば)
- * 一般条件で使うと不自然になることがある
 - * ? いつも8時になったら家に帰った。 (→と/ば)

「なら」

「なら」の条件表現

- * **仮定条件**： 予定がないなら食事しましょう。
- * **予定条件**： _____
- * **反実仮想**： 彼女がいたなら楽しかったのに。
- * **確定条件**： _____
- * **一般条件**： _____

「なら」の制約

- * 過去の事柄や出来事には使えない (→たら／と)
- * *窓を開けるなら外は雨だった。~~—~~
- * 窓を開けたら／開けると外は雨だった。
- * 前後関係が明確な場合は不可 (→たら／れば／と)
- * *いつもおかしを食べるなら運動をします。~~—~~
- * ~食べたら／食べれば／食べると運動をします。

「なら」の特徴

- * 同時に生じる事柄の間関係を表わすことができる
- * 山に行くのなら非常食を持って行くほうがいい。
- * 「のなら(んなら)」で〈前提〉の意味を表わす
- * 頭が痛いのなら、休んでもいいですよ。
 - * 『頭が痛い』ことはほぼ確実 (→前提)
- * 頭が痛いなら、休んでもいいですよ。
 - * 『頭が痛い』かどうかは不明 (→仮定)

「(れ)ば」

「(れ)ば」の条件表現

- * **假定条件**： 天気がよければ散歩しましょう。
- * **予定条件**： _____
- * **反実仮想**： もっと勉強していれば合格した。
- * **確定条件**： (よく見れば知っている人だった。)
- * **一般条件**： 春になれば、桜の花が咲きます。

「(れ)ば」の制約

- * 同時に生じる出来事には使えない (→なら)
- * 確定条件の用法では特定の意味を表わす
 - * よく見れば、中学校の同級生だった。(気づき)
- * 「たら」よりも文章語的(やや硬い表現)
- * 主節に意志表現の形をとれないことがある
 - * ◎あと戸川さんさえ来れば、出発しよう。
 - * *京都に行けば、抹茶ソフトを食べよう。

「(れ)ば」の特徴

- * 〈必然・当然〉の含みがある(一般条件で多用)
 - * 話せばわかる。(→『わかるはずだ/ものだ』)
- * 主節は肯定的な内容(利益)になる場合が多い
 - * ◎果物を食べれば長生きできる。
 - * ?果物を食べれば病気になる。
 - * ◎果物を食べたらずら病気になる。

「と」

「と」の条件表現

- * 仮定条件： _____
- * 予定条件： _____
- * 反実仮想： _____
- * **確定条件**： 寝ていると電話がかかってきた。
- * **一般条件**： 3月になると花見がしたくなる。

「と」の制約

- * 主節に意志表現の形をとることができない
 - * *明日、晴れると海に行きます。
- * 主節→×命令 ×依頼 ×勧誘 ×禁止 ×忠告
- * 仮定性の度合いが低い（妥当性や常識を示す）
 - * A：お皿を落として割っちゃった。
 - * B：瀬戸物だから、落とせば割れるでしょ。
 - * B：??瀬戸物だから、落とすと割れるでしょ。
 - * 瀬戸物は落とすと割れる。（常識）

「と」の特徴

- * 連続する動作の間のつながりを表わす
 - * イスから立ち上がると部屋を出て行った。
- * 「～ないと(……)」の形で忠告を示す
 - * もっと勉強しないと。
 - * 勉強しないと合格できないよ。

練習

正しいものをすべて選びなさい。

これから食事を { したら
するなら
すれば
すると } いっしょに食べましょう。

{ 暑かったら
暑いなら
暑ければ
暑いと } 窓を開けてください。

正しいものをすべて選びなさい。

これから食事を { したら
するなら
すれば
すると } いっしょに食べましょう。

※同時に生じる出来事には「なら」を用いる

{ 暑かったら
暑いなら
暑ければ
暑いと } 窓を開けてください。

※「と」は主節に依頼表現の形をとれない

正しいものをすべて選びなさい。

入学試験に合格 { したら
するなら
すれば
すると } 日本の大学に留学する。

夜空を { 見ていたら
見ているなら
見ていれば
見ていると } 流れ星が流れた。

正しいものをすべて選びなさい。

入学試験に合格 { したら
するなら
すれば
すると } 日本の大学に留学する。

※「と」は仮定条件には用いない

夜空を { 見ていたら
見ているなら
見ていれば
見ていると } 流れ星が流れた。

※「たら」「と」が確定条件を表わす

正しいものをすべて選びなさい。

ボールを手に { とったら
とるなら
とれば
とると } すぐに放り投げた。

3を3倍 { したら
するなら
すれば
すると } 9になります。

正しいものをすべて選びなさい。

ボールを手に $\left\{ \begin{array}{l} \text{とったら} \\ \text{とるなら} \\ \text{とれば} \\ \text{とると} \end{array} \right\}$ すぐに放り投げた。

※「と」は連続的な動作の間の関係を示す

3を3倍 $\left\{ \begin{array}{l} \text{したら} \\ \text{するなら} \\ \text{すれば} \\ \text{すると} \end{array} \right\}$ 9になります。

※「なら」は一般条件を表わさない

正しいものをすべて選びなさい。

もっと勉強 $\left\{ \begin{array}{l} \text{しなかったら。} \\ \text{しないなら。} \\ \text{しなければ。} \\ \text{しないと。} \end{array} \right\}$

だったら、すぐに $\left\{ \begin{array}{l} \text{始めたら。} \\ \text{始めるなら。} \\ \text{始めれば。} \\ \text{始めると。} \end{array} \right\}$

正しいものをすべて選びなさい。

もっと勉強 { ~~しなかったら。~~
~~しないなら。~~
しなければ。
~~しないと。~~ }

※「なければ(ならない)」→義務、「ないと」→忠告

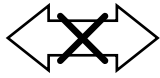
だったら、すぐに { **始めたら。**
~~始めるなら。~~
始めれば。
~~始めると。~~ }

※言いさし表現が可能なのは「たら」「ば」

逆接節

逆接節

A



B

逆接節

のに
けれども
が

主節

Aの内容とBの内容が不一致であることを表わす
予想に反して一致しない意味を含むことがある

のに

「のに」の接続

読む	読むのに	立派な	立派なのに
食べる	食べるのに		立派ではないのに
する	するのに		立派じゃないのに
来る	くるのに	学生	学生なのに
明るい	明るいのに		学生ではないのに
	明るくないのに		学生じゃないのに

※基本的に、普通形+『のに』となる

「のに」の用法

* 逆接節と主節の内容の不一致を表わす

* 日本はもう寒いのに、台湾はまだ暖かい。

* 意外、非難、批判などの気持ちを示すことが多い

* 一生懸命がんばったのに、不合格だった。 [意外]

* 行くなと言ったのに、遊びに行くからだ。 [非難]

* 日本語の先生なのに、日本語が話せない。 [批判]

* がんばって勉強したのに、不合格だった。 [不満]

「のに」の制約

- * 未定・仮定の事柄・出来事には使えない
 - * × ~~明日、雨が降るのに釣りにいきます。~~
 - * × ~~話し合うのに、結論は出ないだろう。~~
- * 主節に意志表現をとることができない
 - * × ~~生活が苦しいのにがんばって生きていこう。~~
 - * × ~~おなかが空くのに食べ物を食べるな。~~
 - * × ~~テストが終るのに、座っていてください。~~

が・けれども

「が・けれども」の接続

読む	読むが	学生	学生だが
	読むけれども		学生だけれども
赤い	赤いが		学生ではないが
	赤いけれども		学生ではないけれども
立派な	立派だが		学生だろうが
	立派だけれども		学生だろうけれども

「が・けれども」の用法

- * 逆接節と主節の内容の不一致を表わす
 - * 日本は寒いが／けれども、台湾は暑い。
- * 非過去の事柄・出来事にも使用できる
 - * 試してみるが／けれども、自信はない。
 - * 行こうと思うが／けれども、金がない。
- * 主節に意志表現をとることができる
 - * 天気は悪いが／けれども、散歩しよう。

「が・けれども」の違い

- * 「が」 → 「けれども」よりも文章語的
- * 「けれども」 → 口頭語的（軽い語感）
- * 一般に、文章には使わない方がよい
- * 「けれど」の形も同じ意味を表わす
- * 談話体では「けど」の形で使われる
 - * Tさんに聞いたけど、Qさんが辞めるって本当？

「のに」との違い①

- * 「のに」は、話し手の主観的な判断を強く示す
- * 雨が降っていたが／けれども釣りに行った。
 - ➔ 事実関係（話し手の理解）を提示している
- * 雨が降っていたのに釣りに行った。
 - ➔ 話し手の主観的な判断(例：常識に反する)を含む
 - * 雨が降っていたのに釣りに行った。だから、あなたはカゼをひいた。[非難する気持ち]

「のに」との違い②

- * 「が・けれども」→逆接節でムードを示せる
 - * ◎大変だろうが／けれども、よろしく頼みます。
 - * ??大変だろうのに、よろしく頼みます。
- * 「が・けれども」→主節に意志表現がとれる
 - * ◎時間はないが／けれども、頑張りましょう。
 - * ×時間はないのに、頑張りましょう。

逆接を示さない用法

- * 「が・けれども」には逆接を示さない用法もある
 - * **前置きとしての用法**
 - * 3つありますが／けれども、どれですか？
 - * 花に風と申しますが／けれども、世の中は～
 - * **文末での用法**
 - * 聞きたいことがあるんですが／けれども。

前置きを示す用法

* 話の前提を示す用法

* 今日の会議ですが／けれども どうでしたか？

* 山に行ったが／けれども 紅葉が綺麗だった。

* 失礼ですが／けれども どちら様でしょうか？

* 話の "枕" を示す用法

* 毎度ばかばかしいお話ですが、～～

➔本題に入る前にする話 (=枕) に添えて使う

文末での用法

* 「が・けれども」→文末で婉曲などを表わす

* 謝りたいことがあるんですが／けれども。

* そろそろ来るかと思えますが／けれども。

* 合格ならばよかったんですが／けれども。

* 受付にお客様が来ていますが／けれども。

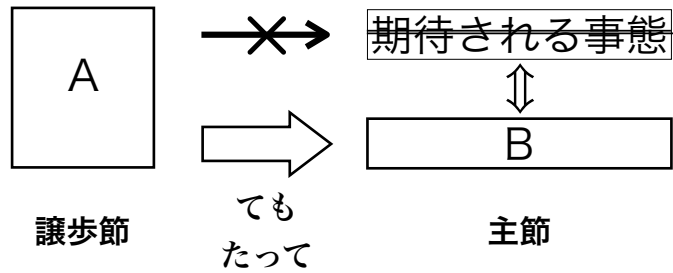
* 「が」は相手を罵倒するときなどにも用いる

* 一体何を考えてやがる！この大馬鹿野郎が！

讓步節

讓步節：總論

譲歩節



通常はAの条件によって成立が期待される事態が、
Aの条件があるにもかかわらず成立しないことを表わす
= 逆条件 → 逆条件節ともいう

逆接節との違い

- * **でも**
 - * 逆条件を表わす [前後に因果関係が想定できる]
 - * 既定／未定・仮定の事柄・出来事に使える
- * **のに**
 - * 逆接（不一致）を表わす [前後に因果関係なし]
 - * 主観的な判断性が強い（意外、非難、批判…）
 - * 既定の事柄・出来事にのみ使える

「のに」と「ても」

- * ◎どんなに悲しくても泣きません。
- * × ~~どんなに悲しいのに泣きません。~~
- * ◎ (もし) 失敗しても、後悔しないと思う。
- * × ~~(もし) 失敗するのに、後悔しないと思う。~~
 - * 「のに」→仮定／非過去の事柄には使えない
- * ◎ (たとえ) 貧乏でも強く生きろ。
- * × ~~(たとえ) 貧乏なのに強く生きろ。~~
 - * 「のに」は主節に意志表現をとれない

譲歩節が表わす逆条件

- * 仮定の逆条件 [非過去の条件]
- * 予定の逆条件 [非過去の条件]
- * 仮想の逆条件 [過去の条件／非過去の条件]
- * 既定の逆条件 [過去の条件]
- * 一般の逆条件 [非過去の条件]
- * 無条件 [過去の条件／非過去の条件]

仮定の逆条件

仮定の逆条件

- * 非過去のできごとに対する逆条件を示す
- * 「ても」などの譲歩節によって示される
 - * 1級に合格できなくてもあきらめない。
- * 「もし」「たとえ」「仮に」などを伴うことも多い
 - * たとえ失敗しても、また挑戦するつもりだ。
- * 主節に意志表現の形をとることもできる
 - * 明日は、雨が降っても釣りに行きたい。

予定の逆条件

予定の逆条件

- * 成立が確実なできごとに対する逆条件を示す
- * 「ても」などの譲歩節によって示される
 - * 名古屋に着いても、特に連絡はしませんよ。
- * 主節は依頼・禁止などになることも多い
 - * 食べ終わっても、席を立たないでください。
 - * テストが終っても、勝手に帰るな。

仮想の逆条件

仮想の逆条件

- * 過去または現在における事実に反する仮定を示す
- * 金持ちであつても、買わないと思う。[非過去]
- * 勉強していても、不合格だっただろう。[過去]
- * 過去→テイル形がタ形と同じになることがある
 - * ○ 勉強しても、不合格だっただろう。
 - * ◎ 勉強していても、不合格だっただろう。
 - * テイル形の方が自然であることも多い

既定の逆条件

既定の逆条件

- * すでに起きた（過去の）個別の逆条件を示す
- * 「～ても」の形で表わす
 - * エンジンを修理しても、直らなかった。
 - * 大きな声で呼んでも、気づかなかった。
- * 過去の一般の逆条件→その他の表現も可能（後述）

仮想逆条件と既定逆条件

* 30分待っていても、彼に会えなかった。[過去]

* **仮想の逆条件**とも**既定の逆条件**とも解釈可能

* 仮想の逆条件ではテイル形が自然になりやすい

* 30分待っても、彼に会えなかった。[過去]

* **既定の逆条件**としか解釈できない

一般の逆条件

一般の逆条件

- * いつでも常に成り立つような一般的な逆条件を示す
 - * 高い山では、春になっても雪が融けない。
 - * 日本語ができなくても、主任にはなれる。
- * 過去における一般的な逆条件を示す場合もある
 - * 夏にアイスが食べたたくても、食べられなかった。

無条件

無条件

- * 条件の有無によらず同じ結果になることを示す
 - * どんなに謝っても、彼女は許してくれなかった。
 - ➔ 『謝る』という条件が結果に何も影響しない
- * 無条件には、主に2つの示し方がある
 - * ①疑問詞や量・程度を表わす語で示す
 - * ②譲歩の表現の反復によって示す

無条件の示し方①

- * ①疑問詞や量・程度を表わす語で示す
 - * だれが後任をやっても、今よりはマシだろう。
 - * どんなに叫んでも、だれも助けには来ないよ。
 - * 何杯ごはんをおかわりしても、同じ料金です。
 - * いくら注意しても、禁煙区域でたばこを吸う。

無条件の示し方②

- * ②譲歩の表現の反復によって示す
 - * 歩いても歩いて、雑木林が続くばかりだった。
 - * ご飯を食べても食べなくても、お腹は空きます。
 - * 結果が良くても悪くても、あなた自身の責任だ。
- * 「しろ」「せよ」の形を使うこともある
 - * 行くにせよ行かないにせよお金はかかる。
 - * 行くにしても行かないにしてもお金はかかる。
 - * 疑問詞とともに使うこともある（反復不要）
 - * だれが行くにせよ／にしても、注意が必要だ。

譲歩節の形

「～ても」形の作り方

* 動詞・形容詞のテ形に「も」をつける

* 名詞では〈名詞+でも〉の形になる

読む	読んでも	赤い	赤くても
起きる	起きても	ない	なくても
来る	来ても	立派な	立派でも
する	しても	学生	学生でも

譲歩節の形

* **ても** もし雨が降ったとしても、釣りにいく。

* **たって** 勉強したって、どうせ合格できないよ。

* **ようと(も)** 誰に言われようと、行くつもりはない。

* **ようが** いくら健康に注意しようが、人は死ぬ。

* **たところで** どんなに言ったところで、効果はない。

* **にしろ** 誰が言ったにしろ、それは正しくない。

* **にせよ** どこに行くにせよ、長い休みが必要だ。

譲歩節の形の用法

- * **ても** 一般的に用いる（譲歩節の基本の形）
- * **たって** 主観的な判断性が強い：より口語的
- * **ようと(も)** 仮定／一般／仮想／無条件を示す
- * **ようが** ※一般に既定の逆条件は示さない
- * **たところで** 書きことば的（やや硬い）
- * **にしろ** ～にしろ～にしろ／〔疑問詞〕～にしろ
- * **にせよ** ～にせよ～にせよ／〔疑問詞〕～にせよ

おわり